

推 奨 品 種  
夏秋どりレタス「サクセス」

(園試高冷地開発センター)

1. 来歴

エンパイヤ系品種とマック系品種の交配種から選抜し、昭和62年、「サクセス」として発表された。

2. 特性の概要

- 1) 高温期における結球性が良く、晩抽性である。
- 2) 球形は「エクシード」よりやや偏平で、球重は「エクシード」並である。
- 3) 球頭および外葉の葉色は「エクシード」より濃い。
- 4) 結球葉中肋部の突出が少なく、突出球発生率は「エクシード」並である。
- 5) 腐敗の発生は「エクシード」並～やや少ない。

3. 推奨品種に採用する理由

高冷地における夏秋レタスの栽培は、3月から7月まで7～10日間隔の計画は種で作付され、6月から10月までの長期継続出荷を行っている。レタスの品種は、低温伸長性のよいカルマー系品種から、晩抽性で高温期に適応性を示すエンパイヤ系品種まで、各作型の気候に最も適した品種が導入されている。

この中で、夏から初秋どり作型で栽培されている「エクシード」は、結球葉中肋部の突出が少なく、外観的品質にすぐれているが、葉色が淡く、腐敗が多いなどの問題を抱えている。

推奨品種として採用する「サクセス」は葉色が濃く、結球葉中肋部の突出が「エクシード」並に安定しており、腐敗球の発生が比較的少ない。

4. 適応地域

- 1) 適応地域 高冷地
- 2) 適応作型 夏～初秋どり作型(5月下旬～7月上旬まき)

5. 栽培上の留意点

- 1) 低温結球性が弱いので、春まきの作型には使用しない。
- 2) 少肥条件では小玉となるので、「エクシード」並の施肥量とするが、収穫期が低温となる初秋どり作型ではやや多めの施肥とする。
- 3) 高温期の栽培となるので、腐敗病等の病虫害防除を徹底する。

6. 試験成績概要

表1 は種期別の生育、収量、品質（平成3～5年）

は種期 (月.日)	品種名	年度	窒素施肥 量(kg/a)	球重 (g)	球高 (cm)	球径 (cm)	心径 (mm)	腐敗球 率(%)	結球不良 球率(%)	中肋突出 球率(%)	
5.20	サクセス	3	0.72	364	10.8	13.7	23.8	20	0	0	
		4	0.90	369	12.1	14.4	26.6	38	8	8	
		5	0.90	527	13.2	14.6	30.0	50	0	5	
		〃(50%増肥)	5	1.35	576	13.1	13.8	27.2	45	0	5
		エクシード	3	0.72	350	11.8	13.5	25.1	28	0	0
6.10	サクセス	4	0.90	426	12.2	12.3	26.2	30	0	10	
		5	0.90	516	13.3	13.8	27.0	70	20	10	
		3	0.72	215	10.2	10.9	21.4	28	0	8	
		4	0.90	434	10.8	13.7	26.9	50	0	8	
		5	0.90	567	11.9	14.0	30.6	70	0	10	
〃(50%増肥)	5	1.35	554	12.4	14.5	26.2	40	0	5		
7.10	サクセス	エクシード	3	0.72	249	11.1	12.5	21.7	85	0	5
		4	0.90	448	11.2	14.1	26.1	55	0	5	
		5	0.90	537	12.6	14.4	26.0	60	0	5	
		3	0.72	133	8.5	9.3	19.7	35	5	15	
		4	0.90	318	11.6	13.6	26.5	30	0	55	
5	0.90	488	12.1	14.5	26.6	70	0	15			
〃(50%増肥)	5	1.35	577	12.8	15.3	28.6	60	0	35		
エクシード	3	0.72	201	9.7	10.6	22.0	78	5	0		
	4	0.90	320	10.8	12.7	24.2	45	8	40		
	5	0.90	557	12.7	14.7	27.8	95	0	15		

(注) 結球不良球：不結球、タケノコ球